

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和７・８年度 九州地方整備局管内橋梁診断分析業務
業 務 概 要	橋梁の判定区分の遷移分析 １式、自治体ニーズに対する方策検討 １式、報告書作成 １式、打合せ １式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州道路メンテナンスセンター長 寺尾 幸太郎 福岡市博多区博多駅東２丁目１１番１号
契 約 年 月 日	令和 ７年 ９月３０日
契 約 業 者 名	(株)長大
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅前４－１１－１９
契 約 金 額	２１,９７８,０００円(税込み)
予 定 価 格	２１,９７８,０００円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 ７年１０月 １日
履 行 期 間 (至)	令和 ８年 ９月３０日
備 考	入札情報サービス(ＰＰＩ) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和7・8年度 九州地方整備局管内橋梁診断分析業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目11番19号
会社名：株式会社 長 大 福岡支社
電 話：092-477-2656
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

(1) 当該業務の目的

本業務は、九州地方整備局国道事務所が管理する橋梁について、過年度の橋梁定期点検データ、橋梁管理カルテ、橋梁補修設計業務成果、橋梁補修・耐震補強等の工事成果等から補修・補強対策後の健全性の判定区分の遷移等について分析し、急速に進む橋梁の効果的な老朽化対策等を検討するものである。

(2) 業務の内容

- | | |
|-------------------|-------|
| 1) 橋梁の判定区分の遷移分析 | ・・・1式 |
| 2) 自治体ニーズに対する方策検討 | ・・・1式 |
| 3) 報告書作成 | ・・・1式 |
| 4) 打合せ | ・・・1式 |

(3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が241者（同種：153者、類似88者）であることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を30者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

参加資格を有する3者を技術提案書の提出者として選定し、そのうち3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「道路橋のメンテナンスサイクルを効率的・効果的に行うための方策検討をする際の留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表」、及び評価テーマの「道路橋のメンテナンスサイクルを効率的・効果的に行うための方策検討をする際の留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州道路メンテナンスセンター 技術第一課長